除草剤使用時の水管理と初期剤の使用時期

水管理

◎代かきは丁寧に行い田面の均平を保つ。
◎処理時は田面露出がないようにやや深水で管理。
◎除草剤散布後は常時かん水状態を保つ。

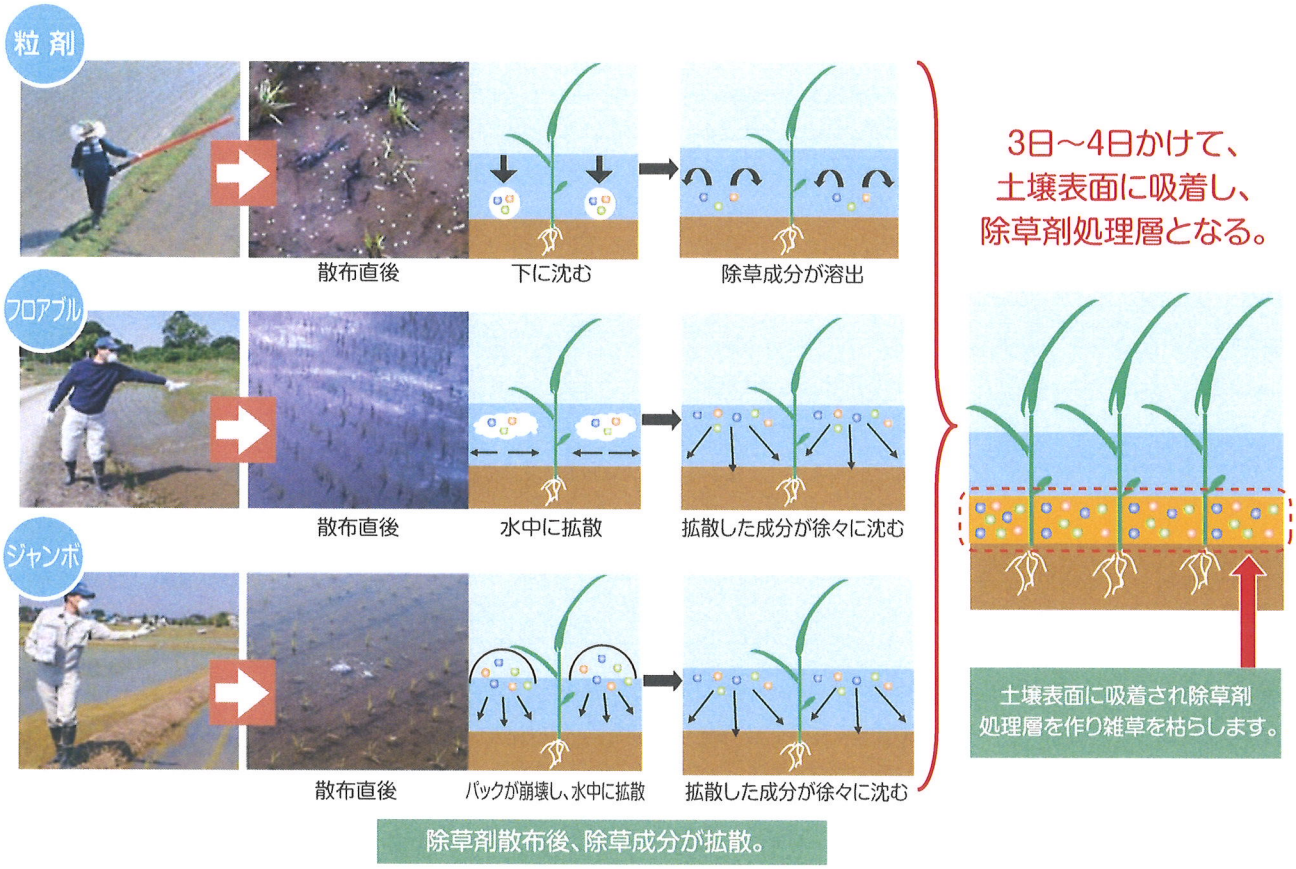
除草剤散布時

◎水深　●粒剤・フロアブル 3～5cm
　　●ジャンボ剤 5～6cm
◎水口・水尻をしっかり止める。
◎使用時期は **代かき後10日以内を目標に。**

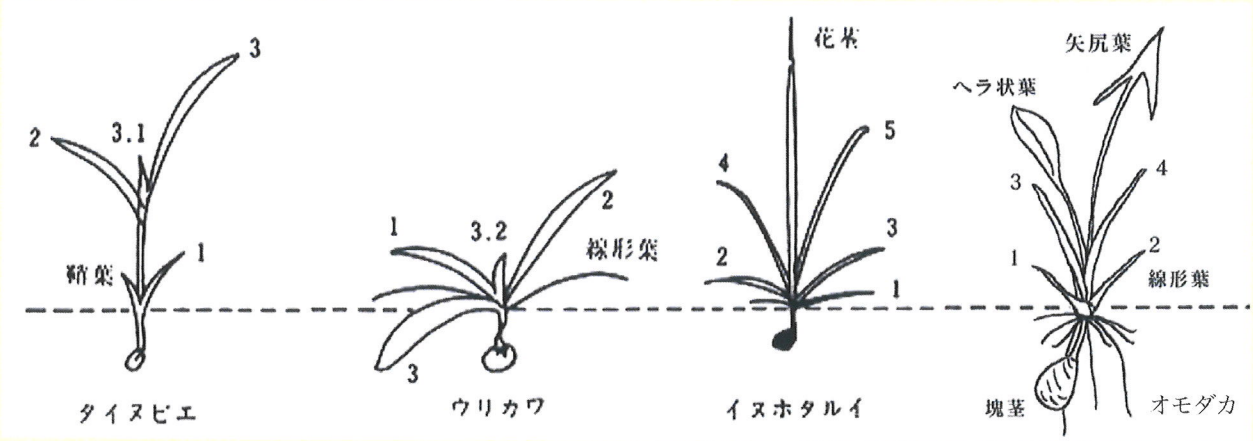
散布後

◎3～4日間は水を動かさない。
◎水が切れそうな時は、静かにさし水をする。
◎止水管理の徹底（散布後7日間）安定した効果を得る事と除草剤の流出（環境への配慮）防止。

除草剤処理層のできかた



代かき後の日数と雑草の葉齢

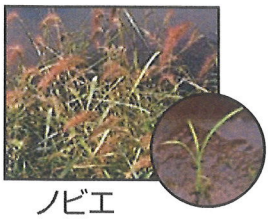


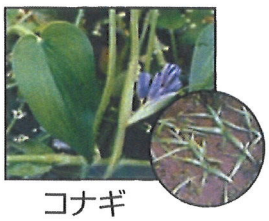
代かき後の日数	5日	7日	10日	12日	15日	20日	25日
ノビエ		1.0～1.5	1.5～2.0	1.5～2.5	2.0～3.0	2.5～4.0	
ウリカワ	初生葉	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～4.0	4.0～6.0	6.0～9.0
ホタルイ	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～3.5	3.5～4.5	4.5～5.0
オモダカ	発生前	発生前	発生始め	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～ヘラ	ヘラ～矢尻

古川農試(2007)より

主な水田雑草

一年生雑草


ノビエ

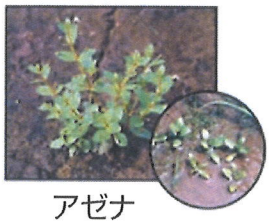

コナギ

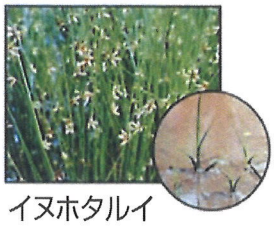
タウコギ

アメリカセンダングサ

イボクサ

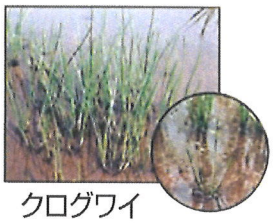
近年増加傾向

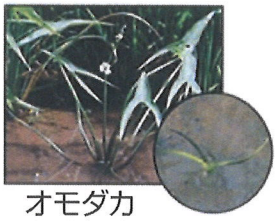

アゼナ

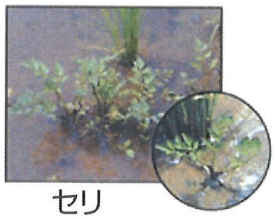

イヌホタルイ

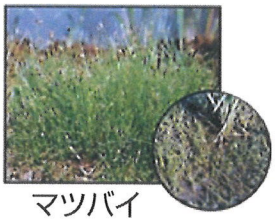
多年生雑草

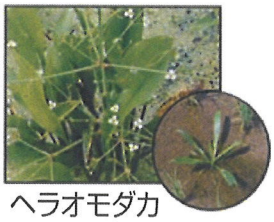
ウリカワ

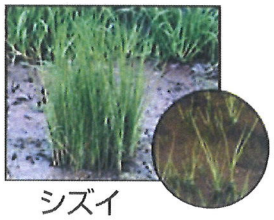

クログワイ


オモダカ


セリ


マツバイ


ヘラオモダカ


シズイ

ホタルイの防除

○ほとんどは種子から発生
○SU剤抵抗性のものもあり
○1個体あたり100粒前後の種を作る
○土壌中の種子の生存期間は長い

特徴

・根に小さな黒い種が付いている
・穂が茎先から数cm下に付く
・基部に鞘はない点でクログワイと区別

●「ピラクロニル」「テフリルトリオン」「プロピリスルフロン」の3成分がホタルイに高い効果を発揮する。
※多発田の場合は、初期剤＋一発処理剤（体系処理）を実施

クログワイの防除

○塊茎から芽が長期間（田植後10～90日程度）発生。
○草丈10～20cmで塊茎を作り始める。
○塊茎の寿命は5～7年程度。種子では繁殖しない。

特徴

・根に玉（塊茎）がある
・穂が茎先に付く
しごくとバリバリ音がする
・基部に鞘がある

塊茎

10～20cm程度になると塊茎をつくる

1.多発田はこだわり米を中止し一発剤と中・後期剤の体系処理を3～5年程度続ける!!
2.秋・冬の耕起も効果有!!

オモダカの防除

○塊茎から芽が長期間（移植直後～60日程度）発生。
○主に塊茎で繁殖し、種子でも増える。
○塊茎の寿命は1年程度。徹底防除で大幅な減少が可能！

●初期剤＋一発処理剤（体系処理）を実施。
●「ピラクロニル」「テフリルトリオン」の成分が入った除草剤を使用することが重要。